

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスWorld of Wing		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実(曜日ごとに活動プログラムがあり、子どもたちにとって活動が分かりやすくなっている)	活動において、講師派遣を行い子どもたちが一つでも多くの経験(体験)できるようにしている。曜日ごとに活動が決まっているが、内容が固定化されないように考えている。	今の活動はほんの一部にすぎないため、活動内容の充実と将来の就労に向けた活動内容も視野に入れていく。
2	スタッフの得意とすることが活かされている	活動プログラムにおいて、スタッフの有資格や得意とするもの(英語、ダンス、体操、楽器など)を取り入れて、子どもたちが無理せず多くの経験ができるように考えている	無理矢理やらせるのではなく、子どもたち一人ひとりが主役になれるような活動プログラムを取り入れていく。
3	多くの人と関れるツールがある	スタッフ全員が子どもたちの特性を理解し、子どもたちが一人でも多くの人と関わり、対人関係の構築ができるようにスタッフ一人ひとりが持っている情報ツールを活用している。	他事業所(障害者通所施設や高齢者デイサービス等)への訪問や交流などを通して、多くの人に関われるように考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの配置基準は満たしているものの、子どもの安全と支援の充実を図るためのスタッフが不足している。	スタッフを募集しても応募がなく、放課後等デイサービスの仕事そのものが社会において理解されていない。	放課後等デイサービスの事業所が保育士や福祉系の資格において実習先となっていないため、保育所や障害者福祉サービス等と比べると、放課後等デイサービスは社会で浸透されにくいのではないかと。
2	中高生が多い日は、身体が大きく運動量もある為、少し部屋が小さいという声がある。	部屋は規定通りのスペースとなっている。	活動室の広さを広げる事は現実的に難しい。 部屋の使用方法を見直し、広く使えるように検討する。
3	保護者会など保護者同士が集まれる機会が作れていない。	保護者会を作ってしまうと保護者負担も大きくなり、保護者会を望んでいる家庭はなく、事業所として保護者会は作らないようにしている。	保護者会は保護者負担を考えると作ろうとは考えていない。しかし、保護者が常に相談できる環境作りは必要だと考えている。面談のみならず、相談したいことがあればいつでも…と保護者が気楽に声かけできる環境作りを行っていく。